

【ニュルンベルクメッセ日本代表部】第13号_2023秋 BIOFACH Japan 2024始動に向けプレ企画を東京ビッグサイトで開催

2023年9月25日 11:02

ニュルンベルクメッセ日本代表部 メールニュース



皆様 こんにちは。ニュルンベルクメッセ日本代表部です。

日頃よりニュルンベルクメッセの活動に温かいご支援を賜りまして誠にありがとうございます。お彼岸を過ぎてても暑さが残る毎日ですが、朝晩はやっと涼しい風を感じられるようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、ニュルンベルクメッセグループは2011年よりローランド・フレック氏とピーター・オットマン氏の2名のCEOが率いてきましたが、2023年8月1日よりフレック氏が退任、オットマン氏が単独のCEOとなり、4名の上級管理委員会のメンバーとともに新しい経営体制で進めていくこととなりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



監査役会会長のマルクス・ケーニヒ氏（左）と新しい経営陣：CEOのペーター・オットマン氏（右）、
上級管理委員会メンバーペトラ・ウルフ氏、トーマス・コッホ博士、ダーク・ブルム博士、マーティン・カスベク博士

また、[2022年のアニュアルレポート](#)が発行され、新型コロナウイルスにより見本市やカンファレンスの開催が3月まで制限されたにも関わらず、再開後に活発な成長を遂げたことが報告されています。841,612㎡（2021年：176,558㎡）のネットスペース、世界中で155のイベント（2021年：57）、出展者数23,457社（2021年：5,493）、来場者数989,338人（2021年：176,558人）をお迎えし、売上高は2

億5,700万ユーロ（2021年: 6,860万ユーロ）に跳ね上がりました。オットマンCEOは「展示会ビジネスは世界中で猛烈なスピードで回復している。私たちの見本市は成功に向けて再び軌道に乗りました。」と力強いコメントをしています。

1. 2024年からいよいよ再開する BIOFACH Japan

2024年、GOOD LIFE フェア2024の併催イベントとしてBIOFACH Japanが再開します。ニュルンベルクメッセはプレ企画として「BIOFACH Japan ブース」を9月1日から3日に東京ビッグサイトで開催された「GOOD LIFE フェア2023」に設置しました。また、ニュルンベルクメッセとGOOD LIFE フェアの主催である朝日新聞社が2024年のBIOFACH Japan開催に向け、契約書への調印を行いました。

今回の「BIOFACH Japan ブース」には7カ国より参加の企業が有機茶、ハーブティ、オリーブオイルなどの食品のほか、ナチュラルヘアカラーや天然素材洗剤など国内外のオーガニック製品のサンプル展示を行い、日本のバイヤーと交流しました。初日9月1日には、ニュルンベルクメッセ 国際イベント・展示部長のヒルケ・ハルトマンが、「世界のオーガニック市場の発展と動向」と題した講演を行い関心を集めました。

■BIOFACH Japanレポート「世界のオーガニック市場の発展と動向」は[こちら](#)

■BIOFACH Japan詳細（英語）は[こちら](#)

2. 活況を呈するニュルンベルクメッセ 2023春～秋

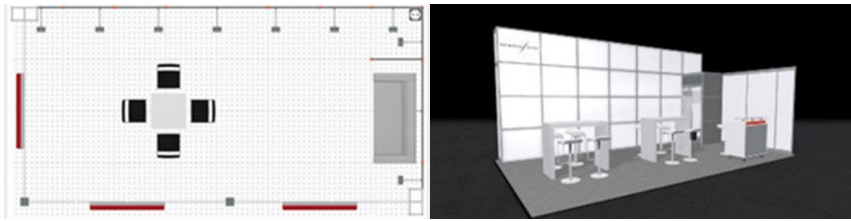
COVID19に関わる制限が完全になくなった本年のMedtecLIVE with T4M(5月23-25日)の出展社数はほぼ昨年並みにとどまりましたが、来場者数は前年より28%増加し、展示会の活気回復が感じられました。9月26-28日に開催されるPOWTECHでは、来場者に加え出展社が前年の15%増、来場者は30%-55%増と予測されています。さらに、来年1月に予定のEUROGUSSはすでに展示会場が全て埋まり、出展希望者はウェイティングリストに登録しお待ちいただいている状況です。

これらの数字が示すように、ニュルンベルクメッセにCOVID19前の活気が本格的に戻ってきました。ご出展をお考えの展示会がある場合は早めにご検討されることをお勧めします。



3. ニュルンベルクメッセ展示スタンド コンフィギュレーターのご紹介

ニュルンベルクメッセが主催する見本市では、展示スタンドコンフィギュレーターというオンラインサービスを提供しています。家具やデザインを含め、展示スタンド（ブース）を計画するのに大変手軽にご利用頂けます。スタンド形状、サイズ、予算、展示デザインや備品などのカスタマイズを選択し配置するだけで、2Dと3Dのイメージを確認でき、そのまま発注することも可能です。ニュルンベルクメッセのブース設営における長年の経験と豊富なノウハウにより、皆様のブース計画に最適のソリューションを提供します。是非お試しください。



スタンドコンフィギュレーターで作成した2Dと3Dのスタンドイメージサンプル

■[ニュルンベルグメッセのスタンドコンフィギュレーターはこちら>>>](#)

4. 2023年～2024年開催予定見本市

■POWTECH 来場募集中 チケット購入はこちら

粉体の加工・分析に関する世界をリードする見本市

2023年9月26日-28日 [詳しくはこちら](#)

■It-sa365 来場募集中 チケット購入はこちら

ITセキュリティに関するヨーロッパ最大の見本市

2023年10月10日-12日 [詳しくはこちら](#)

■Brau Beviale

[出展募集中 申込はこちら](#)

[来場募集中 チケット購入はこちら](#)

世界的な飲料業界向けの原材料、機械、梱包材などの展示会

2023年11月28日-30日 [詳しくはこちら](#)

■HYDROGEN DIALOGUE - Summit & Expo NEW!

[出展募集中 申込はこちら](#)

[来場募集中 チケット購入はこちら](#)

水素関連バリューチェーンを包括した専門家による会話プラットフォームイベント

2023年12月6日-7日 [詳しくはこちら](#)

■EUROGUSS ※出展はSold Outとなっています

[ウェイティングリストの登録はこちら](#)

[来場募集中 チケット購入はこちら](#)

ヨーロッパ最大のダイカスト産業国際見本市

2024年1月16日-18日 [詳しくはこちら](#)

■BIOFACH [出展募集中 申込はこちら](#)

世界を代表するオーガニック食品見本市

2024年2月13日-16日 [詳しくはこちら](#)

■VIVANESS [出展募集中 申込はこちら](#)

ナチュラル&オーガニック化粧品国際見本市

2024年2月13日-16日 [詳しくはこちら](#)

■Enforce Tac 2024 [出展募集中 申込はこちら](#)

制御および運用機器のための国際見本市

2024年2月26日-28日 [詳しくはこちら](#)

■IWA & OutdoorClassics 2024 [出展募集中 申込はこちら](#)

狩猟、スポーツ射撃、アウトドア製品の世界をリードする見本市
2024年2月 29日-3月 3日 [詳しくはこちら](#)

■FENSTERBAU FRONTALE 2024 [出展募集中 申込はこちら](#)

窓、ドア、ファサードの世界的見本市
2024年3月19日-22日 [詳しくはこちら](#)

■HOLZ-HANDWERK 2024 [出展募集中 申込はこちら](#)

木工と木材加工の見本市
2024年3月19日-22日 [詳しくはこちら](#)

■MedtecLIVE [出展募集中 申込はこちら](#)

医療関連サプライチェーンの国際見本市
2024年6月18日-20日 [詳しくはこちら](#)
※シュトゥットガルトメッセと隔年開催 2024年はシュトゥットガルトメッセにて

■Stone+tec [出展募集中 申込はこちら](#)

天然石と石の技術に関する国際見本市
2024年6月19日-22日 [詳しくはこちら](#)

■FACHPACK [出展募集中 申込はこちら](#)

包装、技術、加工に関する欧州見本市
2024年9月24日-26日 [詳しくはこちら](#)

■BIOFACH JAPAN NEW! [出展募集中 申込はこちら](#)

包装、技術、加工に関する欧州見本市
2024年10月25日-27日 [詳しくはこちら](#)
※「GOOD LIFEフェア」併催（主催：朝日新聞社）

◇**あしがき**◇ **ニュルンベルク市内の観光名所をご案内**

約5kmの外壁で囲まれたニュルンベルク旧市街は石畳が敷き詰められ、中世の面影が色濃く残り、神聖ローマ帝国の居城（カイザーブルク）がそびえています。多くの皇帝がニュルンベルク城を好んだといわれ、ローマ帝国皇帝カール4世は1356年にニュルンベルクで金印勅書を公布、皇帝はその即位後最初の帝国議会をニュルンベルクで開催することを決めました。この慣例は1543年まで続けられました。日本の室町時代(1336-1573)とほぼ同時期になります。

手工業や商業で反映した面影を残すニュルンベルク旧市街には、フラウエン教会、聖ローレンツ教会、市庁舎、中央広場、デューラーハウスなど様々な観光名所がありますが、今回はマックス橋とヘンカーシュテークをご紹介します。

夕日の中にあるこの橋は旧市街を流れるペグニッツ川にかかるマックス橋です。ニュルンベルク最古の石橋で1573年に建設されたとされています。修復を経て現在でも人や車の往来が絶えない橋です。日本ではこの年太田道灌が江戸城を築城しています。



右はヘンカーシュテークという屋根付きの橋です。「死刑執行人の橋」といわれ、川を隔てた橋の真ん中に執行人の住居がありました。彼らは「仕事」のある時住居から出て橋を渡りましたが、その頻度は少なくはなかったようです。人々が「距離を取りたい職業」だったことがわかります。

ニュルンベルク市内には美しい観光名所が多くあり、社会を裏側から支えていた施設も残っており、中世の社会の様子を生き生きと伝えています。

ニュルンベルクにて皆様を見本市にお迎えできますことを楽しみにいたしております。

ご出展、ご来場に関するご質問等ございましたら、ニュルンベルクメッセ日本代表部までどうぞお気軽にお問合せください。